

第2回千石町地区生活道路交通安全対策協議会

報告書

- | | | |
|---|-----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | 日 時 | 平成31年4月25日(木) 15:00~16:30 |
| 2 | 会 場 | 湯沢西小学校 会議室 |
| 3 | 出席者 | 出席者名簿のとおり |
| 4 | 協 議 | ①第1回協議会 振り返り、まとめ
②今年度の生活道路安全対策(案)について
③今後のスケジュールについて
④生活道路対策取組事例紹介
<大仙市における生活道路交通安全対策の取組みについて>
⑤出席者からの意見・要望 |

概 要

①第1回協議会の振り返り、まとめ【湯沢市建設部建設課】

資料1により 第1回協議会の振り返り、まとめを説明

千石町地区生活道路対策エリア、協議会メンバー構成、取組フローを再確認

出席者の皆様から頂いた意見、要望を路線毎に説明

対策必要箇所をエリア図に記入し説明

②今年度の生活道路安全対策(案)について【湯沢市建設部建設課】

資料1により 今年度社会実験として行う対策案について説明

1) 市道西松沢線・木山方堤防線・石名塚区画街路2号線の交差点カラー化

2) 市道西松沢線(一部)の車道幅員の減少による歩行者・自転車の安全確保

3) 市道万石小豆田線の狭さくによる減速・通過交通減少対策

上記対策の必要性及び概要について説明

③今後のスケジュール【湯沢市建設部建設課】

資料1により 今後のスケジュールについて説明

④生活道路対策取組事例紹介【湯沢河川国道事務所】

資料2により 大仙市における生活道路交通安全対策の取り組み事例を紹介

⑤出席者からの意見・要望

○今回社会実験として行う対策案について湯沢河川国道事務所からの意見

湯沢河川国道事務所)

今回行う対策案については特に意見はありません

地域で交通に特性があるため、実際に対策案を実施して検証していくことが

大切であると感じている。継続していくことも必要である

○ゾーン30が浸透していないという意見に対しての対策について

湯沢警察署 交通規制課)

看板等の設置により、周知したいと考えているが設置場所の問題、除雪作業への支障等によりなかなか設置できない。視覚に訴える方法が必要だと感じている

○今回の対策案について警察署からの意見

湯沢警察署 交通規制課)

車線を狭くすることについては特に問題がないことを公安委員会に確認している

○声掛け事案等不審者対策として防犯灯の設置要望についての意見

湯沢市市民生活部くらしの相談課)

防犯灯設置については、地域からの要望を受けて、現地を確認し、市で定める設置基準により判断している

その他出席者からの意見

○3) 市道万石小豆田線の狭さくによる対策箇所は、自転車で通学する生徒も自動車と同様にかわして通行するのか、狭さくの中を通行してよいのか教えてください

湯沢市建設部建設課)

実際に現地で狭さくの中を自転車で通行し、安全に通行できるかを検証してみますので、その際は一緒に立会していただけるようお願いいたします

第2回 千石町地区生活道路交通安全対策協議会出席者

No.	氏名	団体名	役職	区分	備考
1	武石 正	湯沢西小学校	教諭	学 校	
2	土田 邦子	湯沢西小学校	教諭		
3	菊地 至	湯沢南中学校	生徒指導主事		
4	佐々木 剛	湯沢高等学校	教頭		
5	寺田 純二	湯沢西小学校PTA	会長		
6	最上 育栄	千石町町内会	会長	地 域	
7	齊藤 孝史	千石町第1町内会	会長		
8	藤坂 峰夫	中野町内会	会長		
9	村川 慎一	西小キッズ見守り隊	会員		
10	伊藤 百合子	湯沢南児童クラブ	施設長		
11	高橋 友和	秋田県警湯沢警察署交通規制係	交通規制主任	警 察	
12	佐々木 慎	湯沢河川国道事務所	保全対策官	国	
13	阿部 巧	〃 道路管理課	専門員		
14	佐藤 芳一	教育委員会事務局教育部学校教育課	課長	湯沢市	事務局
15	内藤 英典	〃 指導班	指導主事		
16	照井 匡毅	市民生活部くらしの相談課	課長		
17	平山 悟	〃 生活環境班	班長		
18	佐藤 芳弘	建設部建設課	課長		
19	佐々木 大	〃 土木班	班長		
20	石成 克久	〃 土木班	主幹		
21	竹下 了	〃 土木班	主任		
22	阿部 貴之	〃 維持班	主査		

協議会実施状況

